

歩きたばこ 街からなくそう

禁止条例の制定訴え

中心商店街で署名活動

のら
中君
東太
安悠
岡石
静大

小学生時代からたばこの害について自由研究を続けてきた静岡市立安東中一年大石悠太君（二と）と、同市葵区の呉服町名店街のメンバーが八日、呉服町通りで、「歩きたばこ・ポイ捨て禁止条例」（仮称）の実現を求める署名活動を繰り広げた。街頭活動は九日も行う。十一月の同市議会定例会に、署名を添えて条例制定の請願を出す予定。



通行客に署名への協力を求める大石君（右）＝静岡市葵区呉服町

大石君は小学四年の時、レストランでたばこの煙でぜんそくの発作を起こしたことをきっかけに自由研究を始めた。医師から話を聴いたり、インターネットで受動喫煙の弊害などを調べたりして、発表してきた。

今年六月には、同名店街で禁止条例のアンケートを実施。八月上旬には